

平成 23 年度 第 2 回会計学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

I. 日時 : 平成 23 年 12 月 2 日 (金) 午後 5 時 00 分から 7 時 00 分まで

II. 会場 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 : 岸田委員長、河崎委員、金川委員、松本委員、木本委員、阿部委員
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

会計学教育における教育改善モデル(中間まとめ案)に対するサイバー会員への回答について、内容を再度検討した。議論の出発点に誤解を与えていた可能性があること、また十分な前提条件や委員会における基本的な考え方が周知されていなかったこと等が想定されたため、原案を加筆・修正しながら推敲を重ね完成させた。

続いて授業モデルに基づく授業評価の方法について議論がなされた。学生の授業評価ではなく教員が授業をどのように評価するか、また教員同士の連携によって授業を組み立てていく場合、評価はどのようになるのか議論を行った。各委員から現在の授業評価の実例等が紹介されたが、従来型の授業評価ではなく、新たな視点を取り入れ基準が明確化された評価方法の構築を引き続き議論していくことが確認された。具体的には各分野別に学生の理解度を従来のアンケート形式で集め、学生の授業理解度の結果や関連する他の専門科目の理解度を考慮しながら、専門分野の教員グループもしくは専門分野のコンソーシアム等、第三者が評価できるようなシステムを構築することが提言された。評価結果に関しては教員間での議論ができるような環境の必要性も指摘された。以上のような考え方にに基づき、まずは議論の素案を作成することが提言され、了承された。

最後に教員の教育力について検討がなされた。過去の答申や報告書から、会計分野において理想的な授業を行うためにはどのような力が教員に求められているのか、またどのような研修等のフォローが必要になるのか、今後議論をしていくことが確認された。

2. 次回までの宿題

授業評価の方法について各自で検討する。

3. 次回の委員会

日時 : 2011 年 2 月 25 日 午後 2 時 00 分~4 時 00 分

場所 : 甲南大学

以上